

全国共通商品券推進協議会

National Council for Propulsion of Common Vouchers & Community points

Revitalization of regional commerce for communities

第7回 共通商品券全国大会 in はちのへ 八戸宣言

「待ったなし！わがまち、わが商店街」これがわがまち、そして我々商業者及び商店街の状況である。言うまでもなく、商店街を取り巻く諸環境は激変してきた。中でも消費者の商品と店に対する選択は、一層厳しいものとなっている。加えて、人口減少すなわちマーケットの縮小が目前である。我々はこの困難な状況を突破すべく「第7回共通商品券全国大会」に集い、2日間にわたって議論し、以下の宣言をまとめる。

1. 商業者は、顧客に選択される店を自ら実現すべく初心原点に戻り、徹底努力しなければならない。
2. 地域商店街組織は、商品及びサービスの販売機能に加え、地域社会及び市民が商店街に求める機能・役割がいかなるものであるかについて真剣に追及し、明確に行動計画を立て、その実現に邁進しなければならない。そのために、商店街以外の地域社会の幅広い構成員と協働すべく、開かれた密度の濃い交流を始めなければならない。
3. 当協議会は、地域商店街の共通課題の解決・克服に貢献する組織として、その存在理由を明確にし、積極的に行動する。

- ①情報伝達の迅速化・リアルタイム化を目指す。（問題解決に役立つ商店街の体験・商店街活動に有用な政策の最新情報等を提供する。）
- ②商店街に求められる多様な機能・役割の実現とそのために必要な環境条件の整備について、情報発信し、関係者に働きかけをしていく。
- ③スタンプ・ポイント事業も当協議会の対象事業として組み込んでいく。
- ④当協議会がより明確な立場で使命を果たせるようにするため、協議会の法人化を目指す。

我々商業者及び商店街は、地域社会に対して、真に社会貢献していく使命を確認し、その責任を果たすことを宣言する。



平成 15 年 10 月 23 日
第 7 回 共通商品券全国大会